

令和 2年10月13日

各位

九州大学 熱帯農学研究センター
熱帯作物・環境部門
教授候補者選考委員会
委員長 安井 秀

九州大学 熱帯農学研究センター 熱帯作物・環境部門
教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり熱帯農学研究センター 熱帯作物・環境部門 教授候補者1名を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 選考方針

九州大学熱帯農学研究センターは、学内共同教育研究センターの一つで、熱帯農業に関する研究・教育・国際協力を行うことを目的に、熱帯作物・環境部門、地水・環境保全部門、国際開発部門の3部門で活動しています。このたび、教授の公募を行う熱帯作物・環境部門では、熱帯の生物資源とその栽培環境に関する研究を行い、大学院生物資源環境科学府資源生物科学専攻農業生物科学教育コースに熱帯作物・環境学分野として、修士課程と博士後期課程の教育に参画し、農学部での講義科目も担当しています。

今回の教授候補者としては、

- (1) 以下1)~3)の領域における卓越した見識と該博な知識があること、
 - 1) 熱帯の農業植物資源の生理・生態及び育種に関する教育研究
 - 2) 熱帯の農業植物資源を利用した高生産性で高品質な農作物の開発に関する教育研究
 - 3) 熱帯の農地における農業生態系の維持に関する教育研究
- (2) 国際的な研究活動の実績があること、

- (3) 国際協力について熱意を持って取り組む意思のあること、
 - (4) 国内外の大学院生の教育に熱意を持って取り組む意思のあること、
 - (5) アジアを中心とした国際共同研究等のために、討論ができる英語力を有すること、
 - (6) 博士の学位を有していること、
- 等の要件を備えた方が望まれます。

2. 提出書類

- (1) 略歴書（本籍は都道府県のみ、写真を添付）
- (2) 業績目録（新しい順に記載）
 - I 原著論文：著者名（本人の氏名に下線を、また責任著者に*を記すこと）、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年 (i)査読付き雑誌、(ii)査読なし雑誌、(iii)国際学会プロシーディングス、(iv)その他 で区分すること
 - II 著書：著者名、題名、発行所、発行年
 - III 総説・解説等：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年
 - IV 特許・品種登録等
 - V 学会等での受賞
 - VI 国際学会等招待講演
 - VII 外部資金・競争的資金の導入実績：名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担の別
 - VIII 教育実績
 - IX 社会貢献等の実績
 - X その他：資格等
- (3) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負（1,500字程度）
- (4) これまでの教育の概要と今後の教育に対する抱負（1,500字程度）
教育実績のない場合、今後の教育に対する抱負
- (5) 上記(1)～(4)の書類、これらの Word ファイルおよび PDF ファイルを保存した CD-ROM または USB メモリー
- (6) 主要論文の別刷り又はその写しとそれらの PDF ファイル（10編）
- (7) 推薦書
 - 自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方2名の氏名および連絡先
 - 他薦の場合：推薦書（1通）

(8) 選考後応募書類はお返ししません。

書類の(1)と(2)は下記 URL の様式により作成願います。

<https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/public/Rjl8gAwJHsFAJZkBIRl1p10fx09DmaV4dU0QqDnb80Zk>

3. 提出締切

令和2年11月16日(月)正午まで 必着

4. 提出書類の送付先

〒819-0395

福岡市西区元岡744(ウエスト5号館202号室)

九州大学大学院農学研究院資源生物科学部門・農業生物科学講座・植物育種学分野内

熱帯農学研究センター教授候補者選考委員会

委員長 安井 秀

電話：092-802-4552 E-mail: hyasui@agr.kyushu-u.ac.jp

※ 封筒に「教員応募書類在中」と朱書し、簡易書留などの配達記録が確認できる方法で送付すること(学内便、直接の手渡し等では受け付けません)。なお応募書類は原則として返却しません。また、個人情報については適正に管理し、選考以外の目的には使用しません。

5. 採用予定時期

令和3年4月1日(場合によっては、早まる場合があります。)

6. 勤務地

九州大学伊都キャンパス

7. 担当授業科目

(1) 大学院

修士課程：

(資源生物科学専攻農業生物科学教育コース)

熱帯農学特論(分担)、農業生物科学特別研究第一(分担)、同第二(分担)、農業生物科学プロジェクト演習、農業生物科学輪講(分担)、農業生物科学ティーチング演習、演示技法I、同II、国際演示技法、インターンシップ等

(国際コース)

特別演習 I (分担)、同 II (分担)、修士論文研究 I、同 II、農業生物学特論 (分担)、ティーチング演習、演示技法、インターンシップ等

博士後期課程：

(資源生物学専攻農業生物学教育コース)

農業生物学特別実験 (分担)、農業生物学特別講究、農業生物学特別演習、ティーチング演習、演示技法 I、同 II、国際演示技法、インターンシップ、プロジェクト演習等

(国際コース)

農業生物学特別実験 (分担)、農業生物学特別講究、農業生物学特別演習、ティーチング演習、国際演示技法、インターンシップ、プロジェクト演習等

(2) 学部

(生物資源生産科学コース・農学分野)

熱帯作物・環境学概論 (分担)、園芸資源植物学

(国際コース)

Introduction to Bioresource and Bioenvironmental Sciences I (分担)

なお、英語による授業及び研究指導も担当していただきます。

8. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

9. 労働条件等について

(1) 業務内容

九州大学熱帯農学研究センターにおける教育・研究

(2) 雇用期間

期間の定めなし

(3) 試用期間

試用期間あり (3か月)

(4) 就業時間、休憩時間、時間外労働

専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます。

(5) 休日

土、日、祝日、12/29～1/3

(6) 賃金

年俸制（教育職基本年俸）

なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します。

(7) 加入保険

雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

10. その他

(1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成 11 年法律第 78 号）の精神に則り、教員の選考を行います。

(2) 九州大学では、「障害者基本法（昭和 45 年法律第 84 号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和 35 年法律第 123 号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。

(3) 本センターの教育研究概要等は、以下ホームページを参照してください。

<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/tropic/>

(4) 労働条件等についての規程および問い合わせ先：

国立大学法人九州大学職員給与規程：

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/f/491/2004syuki014.pdf>)

国立大学法人九州大学年俸制給与（教育職基本年俸）の適用に関する細則

(<https://www.kyushu->

[u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf](https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf))

問い合わせ先：九州大学農学部庶務係

(E-mail : nossyomu2@jimmu.kyushu-u.ac.jp 電話 : 092-802-4505)